

第 30 回群馬県救急医療懇談会 プログラム

【第 1 会場（臨床大講堂）】

8:50～9:00 開会式

開会の辞 当番世話人

群馬大学大学院医学系研究科 救急医学 大嶋 清宏

9:00～9:40 一般演題 1【症例（救急救命士）】

座長：森 瑞樹（利根中央病院 総合診療科）

1-1 高齢者施設における手指消毒用エタノール誤飲の1例

前橋市消防局 松本 湧豊

1-2 聴覚障害者からの救急要請に対し、手話通訳者と連携した症例

高崎市等広域消防局 加部 将人

1-3 救急現場に医師と名乗る人物がいた症例

伊勢崎市消防本部 川島 大輝

1-4 防ぎえる転倒事故

吾妻広域消防本部 関 正和

9:50～10:30 一般演題 2【令和6年能登半島地震】

座長：大嶋 清宏（群馬大学大学院医学系研究科 救急医学）

2-1 令和6年能登半島地震における緊急消防援助隊（救急小隊）の活動について

利根沼田広域消防本部 原田 侑介

2-2 令和6年能登半島地震におけるDMAT長期活動を経験して～A病院DMAT看護師としての今後の課題～

SUBARU健康保険組合 太田記念病院 佐藤 真紀

2-3 前橋赤十字病院の能登半島地震災害対応

前橋赤十字病院 高度救命救急センター 藤塚 健次

2-4 令和6年能登半島地震における当院初のDMAT遠隔地派遣を経験して

公立館林厚生病院 小川 泰毅

2-5 令和6年能登半島地震が当院に与えた影響

群馬大学医学部附属病院 救命救急センター 一色 雄太

10:50～12:20 シンポジウム

座長：城田 智之（前橋赤十字病院 高度救命救急センター 救急外来）

「病院前救急看護のこれまでとこれから」

S-1	プレホスピタルにおける児童虐待対応について	前橋赤十字病院 高度救命救急センター 救急外来	入澤 愛
S-2	群馬県ドクターヘリ フライトナースこれまでとこれから	前橋赤十字病院 高度救命救急センター 救急外来	城田 智之
S-3	病院救急車転院搬送チームにおける診療看護師の役割と課題	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター	塩尻 洋大
S-4	クロスSWOT分析による当院ドクターカーナースの実践能力の現状評価と課題の導出	群馬大学医学部附属病院 救命救急センター	城田 麻記
S-5	プレホスピタルにおける認定看護師との関わり	前橋市消防局	都丸 崇行

13:20～14:20 記念講演

司会：澤田 悠輔（群馬大学大学院医学系研究科 救急医学）

「心肺蘇生 これまでとこれから」

群馬大学大学院医学系研究科 救急医学 大嶋 清宏

14:30～15:10 一般演題3【救急システム①】

座長：澤田 悠輔（群馬大学大学院医学系研究科 救急医学）

3-1	リアルタイム電子カルテ情報共有システムの運用	前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科	中村 光伸
3-2	キーワード方式を用いた災害発生の恐れがある事案の通報の特徴と基幹災害拠点病院の初動について	前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科	上田 哲平
3-3	群馬県の病院救急救命士 ～これまでとこれから～	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 救急科	渡部 圭介
3-4	救急外来からの積極的な転院搬送で地域の救急医療体制を守る	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター	町田 浩志
3-5	病院救急車 ～これまでとこれから～	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 救急科	渡部 圭介

15:20～16:00 一般演題4【救急システム②】

座長：大嶋 清宏（群馬大学大学院医学系研究科 救急医学）

4-1 当科に入院した計画外の施設外分娩出生例の検討

群馬県立小児医療センター 新生児科 丸山 憲一

4-2 当院における小児救急搬送症例の検討

前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 井上 俊

4-3 脳卒中傷病者実施基準改訂の取り組み

老年病研究所附属病院 脳神経外科 谷崎 義生

4-4 コロナ禍前後で、脳卒中における病院前救急診療はどのように変化したか

前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 小橋 大輔

4-5 発足10年をむかえる「たかさき消防共同指令センター」の取り組み

たかさき消防共同指令センター 星 輝

16:00 閉会式

閉会の辞 当番世話人

群馬大学大学院医学系研究科 救急医学 大嶋 清宏

【第2会場（臨床中講堂）】

9:00～9:40 一般演題5【看護ケア①】

座長：北城 ひとみ（群馬大学医学部附属病院 北病棟2階）

- 5-1 A病棟看護師の急性心不全患者に出現する消化器症状に対する認識
SUBARU健康保険組合 太田記念病院 木暮 仁美
- 5-2 自殺未遂患者に対する入院中の取り組み ～TALKの原則の活用と現状把握～
SUBARU健康保険組合 太田記念病院 入江 佳奈
- 5-3 緊急入院した患者と家族の治療方針に対する意思決定の支援に向けた看護師の実践
前橋赤十字病院 厚見 眞結
- 5-4 頸髄損傷患者の受容過程に応じた心理的側面への看護介入 ～フィンクの危機モデルを用いて看護を振り返る～
SUBARU健康保険組合 太田記念病院 柏瀬 可奈子
- 5-5 A病院のICU/CCUで勤務する看護師の集中治療後症候群に関する認識及び看護実践の現状と課題
SUBARU健康保険組合 太田記念病院 星野 裕輝

9:50～10:40 一般演題6【教育・訓練】

座長：山田 知義（群馬大学医学部附属病院 救命救急センター）

- 6-1 VR (virtual reality) 技術はICU教育に有効である
前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 杉浦 岳
- 6-2 VR (Virtual Reality) 教材の開発と課題
前橋赤十字病院 高度救命救急センター 関山 裕一
- 6-3 一次脳卒中センターのない地域における脳卒中勉強会
渋川広域消防本部 梅澤 厚志
- 6-4 ICLSコース開催によるCPRの認識の変化
老年病研究所附属病院 田邊 正樹
- 6-5 群馬県薬剤連携確認試験におけるBLSの質の評価
群馬県救急医療体制検討協議会検証医 中村 光伸
- 6-6 搬送中の車内における2人法CPRと1人法CPRの比較
館林地区消防組合 山口 崇朝

11:10～12:10 一般演題7【症例（医師）】

座長：福島 一憲（群馬大学医学部附属病院 救命救急センター）

- 7-1 他科他職種連携にて救命できた亜急性心筋梗塞による心破裂の2例
前橋赤十字病院 心臓血管内科 五十嵐 宏伸
- 7-2 特発性冠動脈解離により心停止を生じた一例
独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 村田 智行
- 7-3 左上腕動脈からIntra-Aortic Balloon Occlusion (IABO) を留置した腹部大動脈瘤破裂の一例
SUBARU健康保険組合 太田記念病院 救急科 澤崎 英太
- 7-4 海外渡航中に発熱し、臨床経過より Dengue 熱が疑われた1例
群馬大学医学部附属病院 救命救急センター 磯貝 康太
- 7-5 救急外来で初療した3例の結核患者について
公立館林厚生病院 曾我 太三
- 7-6 臀部褥瘡から壊死性筋膜炎、敗血症に至り集学的治療により救命し得た一例
群馬大学医学部附属病院 救命救急センター 山田 知義
- 7-7 内服薬が原因と思われた意識消失の2例
国立病院機構 渋川医療センター 横江 隆夫
- 7-8 救急診療における遺伝性血管性浮腫
群馬大学大学院医学系研究科 救急医学 澤田 悠輔

12:30～12:50 評議員会

14:30～15:10 一般演題8【看護ケア②】

座長：神尾 優哉（群馬大学医学部附属病院 救命救急センター）

- 8-1 救急看護の質の向上への取り組み ～症例検討会を開催して～
利根中央病院 救急外来 看護部 川島 千春
- 8-2 救急外来から地域へ繋ぐ高齢患者の支援体制を構築した取り組み
公立館林厚生病院 林郷 亮大
- 8-3 救急車応需の現状と不応需改善にむけた課題
公立藤岡総合病院 金井 優
- 8-4 当院の救命救急センターに勤務する看護師のメンタルヘルス対策 ～「語りの場」を通して～
群馬大学医学部附属病院 救命救急センター 六本木 萌
- 8-5 Dr.Car 看護師の精神的健康に関する調査
独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 救命救急センター 宮崎 浩美

第30回群馬県救急医療懇談会 プログラム

15:20～16:00 一般演題9【救急システム③】

座長：一色 雄太（群馬大学医学部附属病院 救命救急センター）

9-1 群馬県における大規模市民マラソン救護体制に対する試み

利根保健生活協同組合 利根中央病院 外来 星野 唯

9-2 薬物過量摂取症例の現状と課題について

伊勢崎市消防本部 新井 雄士

9-3 当院における違法薬物使用疑い症例への対応について

前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 田村 健太郎

9-4 救急現場における精神疾患が疑われる患者さんへの対応について

群馬大学医学部附属病院 精神科神経科 関谷 樹

9-5 心肺停止傷病者の社会復帰率の向上を目指し

伊勢崎市消防本部 長沼 克浩